

<セルフメディケーションについて>

【調査の目的】

令和元年10月1日現在の住民基本台帳等に基づく65歳以上の高齢者は、1,393,256人（前年同日現在1,376,768人）に達し、総人口の27.2%（前年同日現在26.8%）を占めています。団塊の世代が75歳以上となる2025年（令和7年）以降は、医療や介護の需要が、さらに増加することが見込まれています。

急速な高齢化や社会構造の多様化・複雑化が進む中で、自分自身の健康に責任を持ち、軽度な身体の不調は自分で手当てする「セルフメディケーション」を通じた疾病の予防、早期発見、治療が重要となってきます。

セルフメディケーションを推進するため、皆様のご意見をお聴かせいただき、今後の行政施策の参考とさせていただきたいと思っております。

【活用状況】

このたびは、貴重な御意見ありがとうございます。

セルフメディケーション推進の具体的事業等を総合的に検討するための基礎資料とさせていただきます。

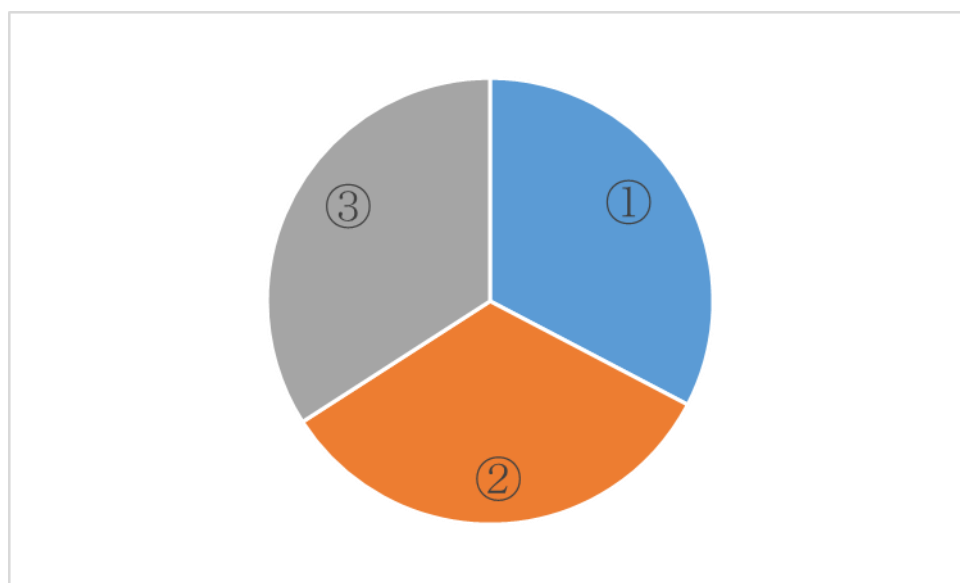
（保健医療介護部薬務課）

※ セルフメディケーションとは

世界保健機関（WHO）は「自分自身の健康に責任を持ち、軽度な身体の不調は自分で手当てすること」と定義しています。

日頃から健康を意識し、軽度な身体の不調には市販薬を使用して健康の維持や疾病の予防・改善を心懸け、セルフメディケーションを実践することで、健康寿命の延伸につながります。

< 1 > あなたは「セルフメディケーション」という言葉を知っていましたか。

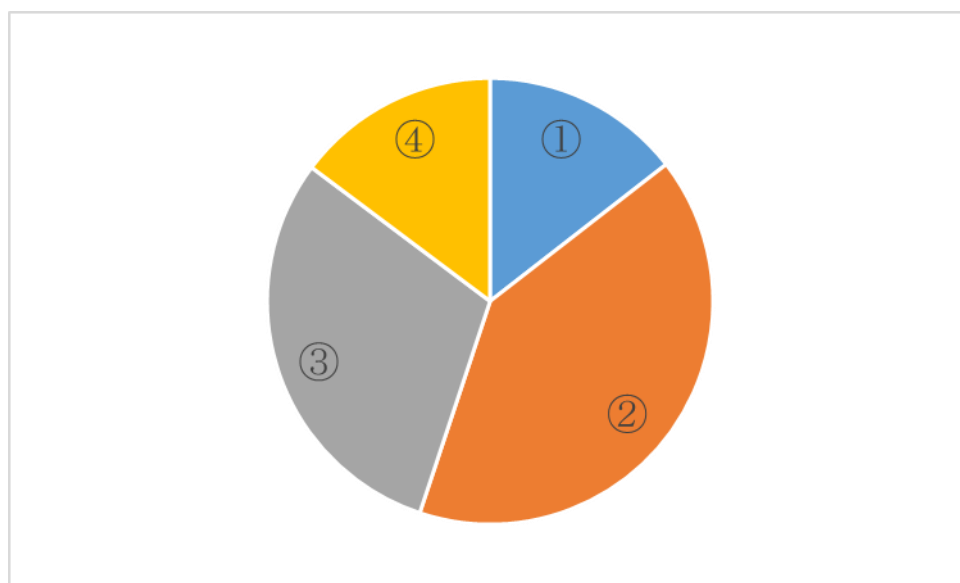


(N=352 選択肢は1つのみ)

① 知っていた	32.7%	(115名)
② 聞いたことはあったが、よく知らなかった	33.2%	(117名)
③ 知らなかった	34.1%	(120名)

無回答 0.0% (0名)

< 2 > あなたはセルフメディケーションを実践していますか。

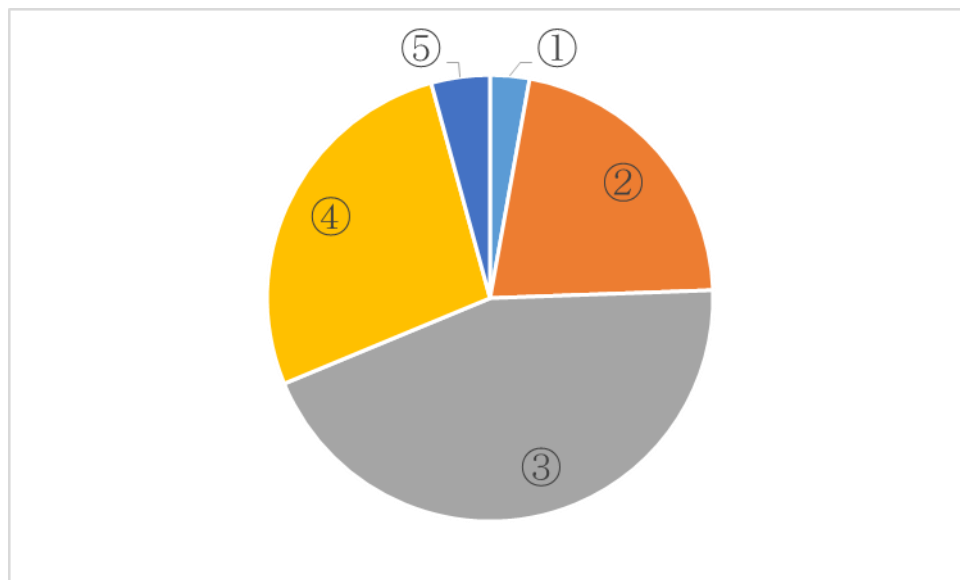


(N=352 選択肢は1つのみ)

① 日頃から実践している	14.5%	(51名)
② おおむね実践している	40.6%	(143名)
③ あまり意識していない	30.1%	(106名)
④ 全く意識していない	14.8%	(52名)

無回答 0.0% (0名)

< 3 > あなたはどの程度の頻度で薬局やドラッグストアを利用しますか。(処方箋の調剤のために利用する場合を除く)

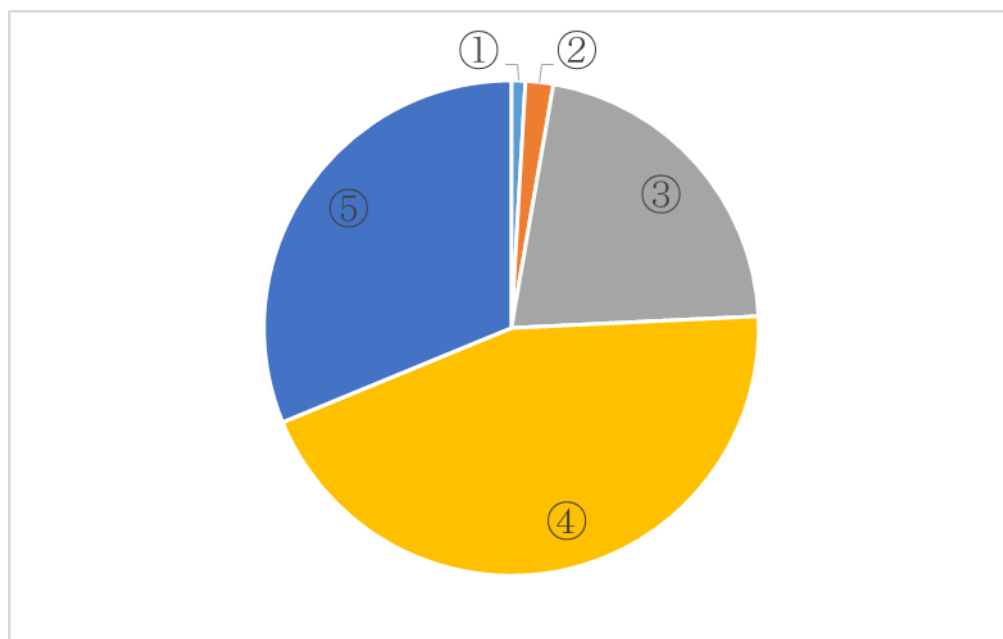


(N=352 選択肢は1つのみ)

① 週3回以上	2.8%	(10名)
② 週1～2回	21.6%	(76名)
③ 月1～3回	44.3%	(156名)
④ ほとんど利用しない	27.0%	(95名)
⑤ 全く利用しない	4.3%	(15名)

無回答 0.0% (0名)

< 4 > 市販薬を購入するため（セルフメディケーションのため）に薬局やドラッグストアを利用する頻度はどのくらいですか。

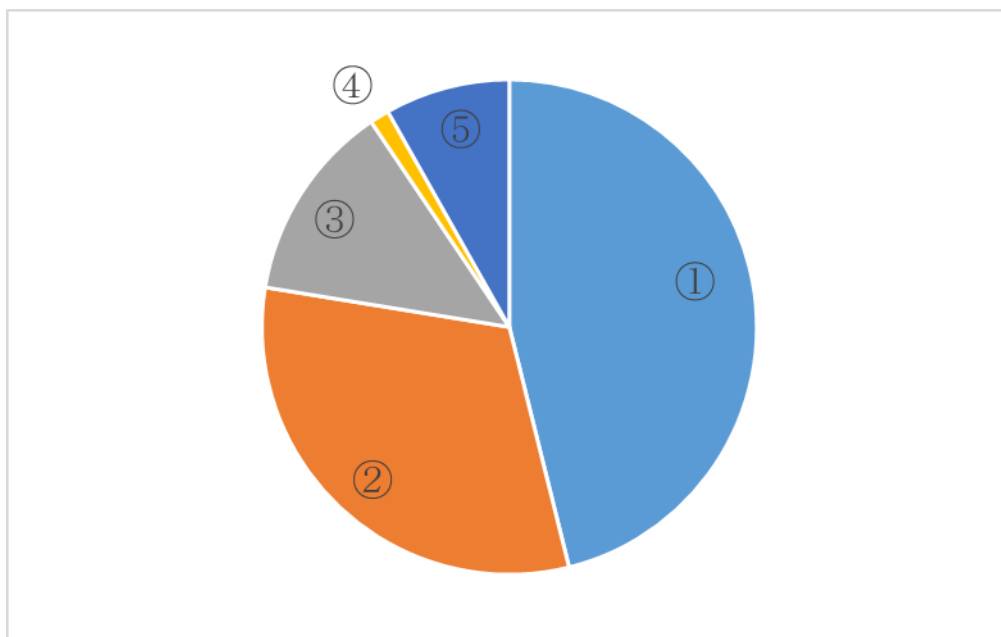


(回答は< 3 >で「①」から「④」のいずれかを選択された方 N=337 選択肢は1つのみ)

① 週3回以上	0.9%	(3名)
② 週1~2回	1.8%	(6名)
③ 月1~3回	21.5%	(71名)
④ 数か月に1回	44.5%	(147名)
⑤ 数か月に1回未満	31.2%	(103名)

無回答 2.1% (7名)

< 5 > あなたは市販薬をどのような目的で利用していますか。



(N=352 複数選択可)

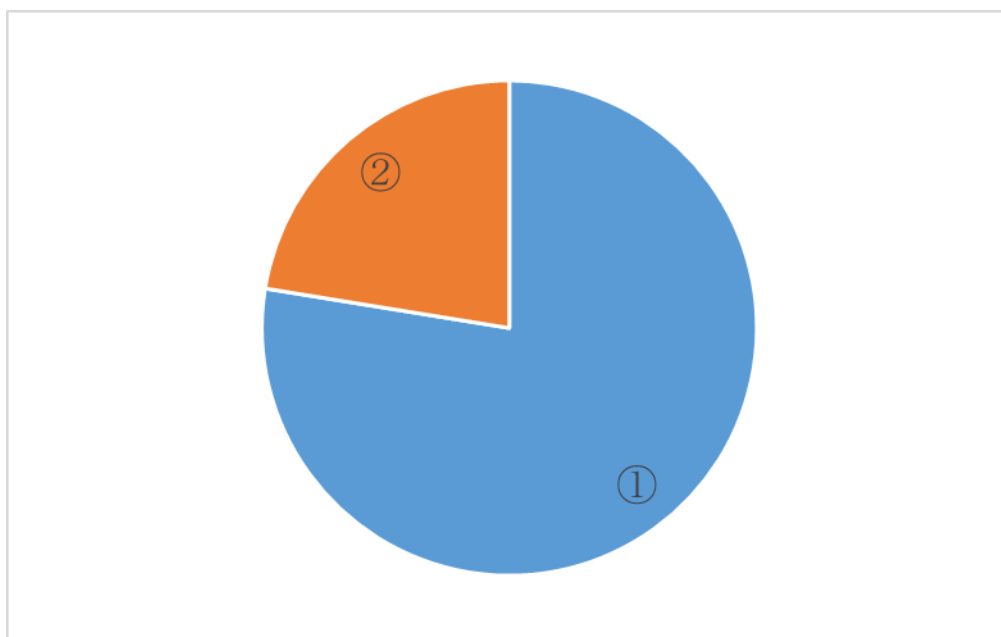
① 急な疾患の治療	46.1%	(220名)
② 日常の症状の緩和	31.4%	(150名)
③ 日常の健康の増進	13.0%	(62名)
④ その他	1.3%	(6名)
⑤ 利用していない	8.2%	(39名)

無回答 0.0% (0名)

[その他 (抜粋)]

- ・軽症で、病院に行くほどでないと思う時、まず市販薬で対応する
- ・胃薬、風邪薬は予備のため、時々買う
- ・コンタクトを使用しており、タンパク除去剤や保存液を購入しております。又点眼薬や総合感冒薬などを購入致します。
- ・病院に行く程もない症状の時に利用する
- ・医者診察まではいらないと判断したとき
- ・疲労やストレス改善

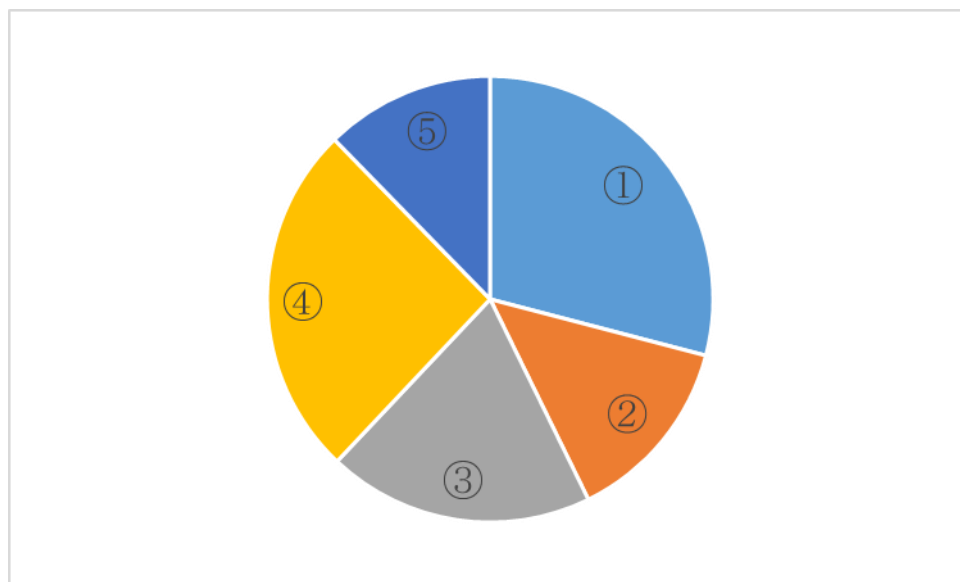
< 6 > 薬を販売するための専門家としての資格の一つに「登録販売者」という資格があります。あなたは「登録販売者」という資格があることを知っていましたか。



(N=352 選択肢は1つのみ)

① 知っていた	77.6%	(273名)
② 知らなかった	22.4%	(79名)
無回答	0.0%	(0名)

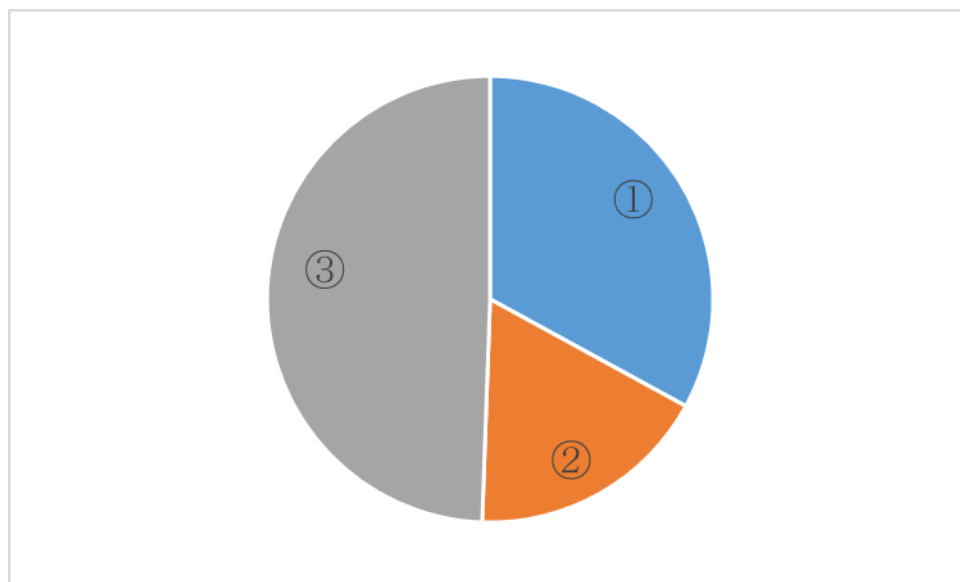
< 7 > 医薬品についてよくわからない時には、自分だけで判断せず、薬の専門家に相談することが大切です。あなたは、医薬品についてわからないことがあったときは薬の専門家に相談していますか。



(N=352 複数選択可)

① 医療機関の医師に相談している	29.1%	(170名)
② 医療機関の薬剤師に相談している	13.7%	(80名)
③ 薬局の薬剤師に相談している	19.3%	(113名)
④ ドラッグストアの薬剤師・登録販売者に相談している	25.6%	(150名)
⑤ 専門家に相談することはほとんどない	12.3%	(72名)
無回答	0.0%	(0名)

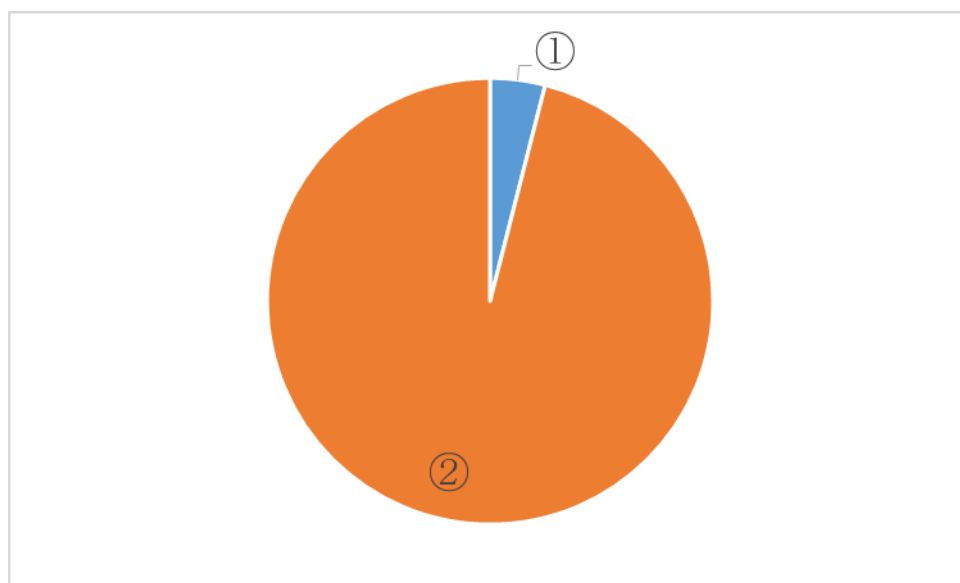
< 8 > 平成29年1月から所得控除を受けられるセルフメディケーション税制が創設され、運用が開始されています。あなたは「セルフメディケーション税制」という言葉を知っていましたか。



(N=352 選択肢は1つのみ)

① 知っていた	33.0%	(116名)
② 聞いたことはあったが、よく知らなかった	17.6%	(62名)
③ 知らなかった	49.4%	(174名)
無回答	0.0%	(0名)

< 9 > セルフメディケーション税制を利用したことはありますか。

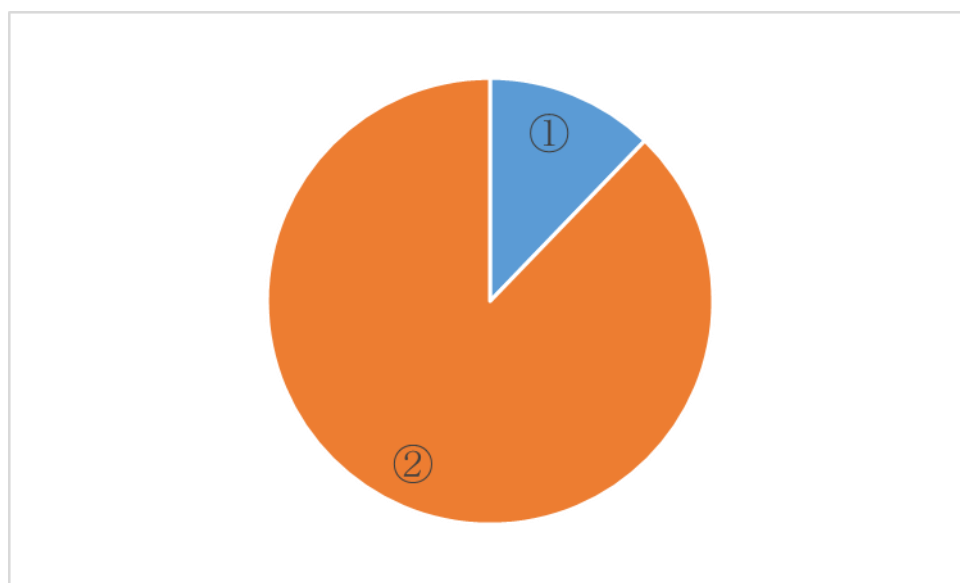


(N=352 選択肢は1つのみ)

① ある	4.0%	(14名)
② ない	96.0%	(338名)

無回答 0.0% (0名)

< 10 > セルフメディケーションについて、これまでの設問以外に意見がありますか。



(N=352 選択肢は1つのみ)

① ある	12.2%	(43名)
② 特にない	87.8%	(309名)
無回答	0.0%	(0名)

[意見 (抜粋)]

- ・いつも思うが、色々な制度を実施するのに、私達が知らぬ間に始まっている制度が多いと感じる。もっとアピールや浸透させるべきではないか。テレビ等を全く見る時間がない我々にとっては知らないうちに色々な制度がスタートしているほかならない。その為、利用することさえ出来ない。
- ・セルフメディケーションを個人に行政側が求めるのであれば、予防医学知識の浸透や健康診断のより広範囲での助成や無償化を進めるべきと思います。
- ・医療費削減のためにも、セルフメディケーションの制度のPRを国と連携して福岡県とやるべきだ。また、確定申告をすると税金が戻ってくる点も拡大してPRすれば世間の関心がひけるのではないのでしょうか？
- ・健康のことだし大切なことだと思いますが、本当によく知りません。啓発活動をお願いします。
- ・自分の健康管理に努めることは大切だと思い、食べ物等の生活習慣を見直したり自分に合った薬やそれに代わるものを使用したりしている。市販薬という縛りがあるので、今のセルフメディケーションに関する制度では、メリットがないように思う。